

# 1 事業群評価調書

団体名：京丹後市

重点目標	「ひと」、「みず」、「みどり」歴史と文化が織りなす交流のまちづくり		
b 安心ネットワークの形成	事業群		構成事業名
			スクールサポーター設置事業
			国民健康保険運営円滑化事業
事業群全体による 成果の概要	<p>市域の小学校（31校）、中学校（9校）にスクールサポーター（少人数指導職員13人、介護職員8人、心の相談員9人）を設置し、次世代を担う児童、生徒の健やかな成長と学習環境を整えることに努めた。</p> <p>また、国民健康保険を円滑に運営するため、被保険者に対する人間ドック事業（281人）、疾病予防事業、制度・医療費周知等（年6回）を実施して健康づくり意識を高めるとともに、効率的なレセプト点検等（財政効果分73,600千円）により医療費の抑制に努めた。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

（記載要領）

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	スクールサポーター設置事業				
事業の概要	次代を担う子どもたちの健やかな成長と学習環境を整えるため、管内小学校、中学校にスクールサポーターを設置する。				
	目標時期	平成22年度			
	総事業費	196,000	本年度事業費	30,157	交付金交付額
事業の必要性	地域の一員として次代を担う児童・生徒が活躍できる環境を構築するため、少人数指導による学習体制の整備、特別な介護を要する者への支援、児童・生徒等の悩みやストレスを和らげ解消する相談体制を整える必要がある。				
事業の有効性	スクールサポーターの配置によって、学力の到達度にあった学習指導方法、身体等の介護状況に応じた支援と効率的な授業、気軽に相談や対話ができる体制を整えることができる。				
事業の効率性	ティームティーチング職員13人(小学校10校/31校、中学校3校/9校)、介護職員(小学校6校/31校、中学校2校/9校)、心の相談員(中学校のみ9校/9校)を臨時職員として効率的に配置する。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

事業名	国民健康保険運営円滑化事業				
事業の概要	国民健康保険を円滑に運営するため、被保険者に対する人間ドック事業、疾病予防事業、制度・医療費周知等を実施して健康づくり意識を高めるとともに、効率的なレセプト点検等より医療費の抑制に努める。				
	目標時期	平成21年度			
	総事業費	1,195,000	本年度事業費	160,074	交付金交付額
事業の必要性	国民健康保険の円滑な運営による財政基盤の健全化と安定化を図るためには、医療費を抑制する必要がある、被保険者の健康づくり意識の高揚、健康保持や疾病予防に対する啓発実践活動を継続して取り組んでいく必要がある。				
事業の有効性	被保険者への医療費通知(年6回)や適宜な制度周知を行うとともに、疾病予防として人間ドック受診(281人)に対する支援や各種の健康教室を通じて、健康づくり意識の高揚を図ることができる。				
事業の効率性	医療機関や保健師等との連携強化を図るとともに、専門知識をもった職員による効率的なレセプト点検等を行うことによって国保財政の健全化を図ることができる。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果				
	4 広域的波及成果				
	5 行財政改革に資する成果 健康づくり意識の高揚と疾病予防の実践を市民に啓発して医療費の抑制を図るとともに、レセプト点検等(過誤調整分68,134千円、返納金分5,549千円)によって国保財政基盤の更なる健全化を目指す。				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。